

11月5日

物価対策掲げ米軍奉仕

8日に閣議決定された

補正予算案は「物価高対策」をついたいながら、軍事費4464億円が計上されました。

補正予算への計上としては過去最大となりた21年度の7738億円に次ぐ規模で、今年度の本予算と併せれば5兆84112億円に達します。

災害や景気対策など、本予算編成時に想定されなかつた事象に対応するためという補正予算の趣

意を逸脱した軍事費の計上が常態化しており、正

補正予算案に軍事費

当性が問われます。

防衛省が公表した資料によれば、大半を占める

島（鹿児島県西之表市）への米空母着艦訓練場、

自衛隊基地建設費2179億円が、補正予算案の軍事費分の半分近くを占めています。

環境影響評価（アセスメント）も完了していません。環境影響評価（アセスメント）も完

成84112億円に達しま

す。災害や景気対策など、本予算編成時に想定されなかつた事象に対応するためという補正予算の趣

意を逸脱した軍事費の計

上が常態化しており、正

初予算に3183億円を計上しており、数千億円もの巨大基地になる見通しがです。

これ以外の再編経費と

して、名護市辺野古の米軍新基地建設（330億円）、米領グアムへの海

兵隊基地建設（368億円）などを計上。一方、

隊舎や戸舎など自衛隊のインフラ整備費や原油高

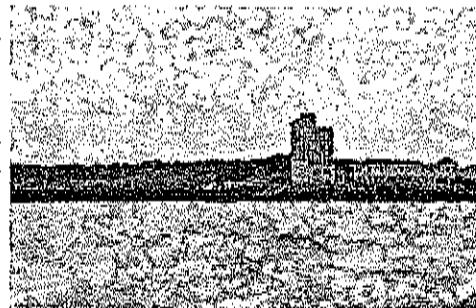
価（アセスメント）も完

了していないにもかかわらず、滑走路などの整備

費を計上。アセス法との関係でも疑義が生じるものです。

「物価高対策」を掲げた補正予算案への軍事費の計上に加え、その大半が米軍奉仕という、一重三重に不当なものになつて

おり、厳しい批判は避けられません。



自衛隊基地建設が組まれている馬毛島の栗山
港＝鹿児島県西之表市